

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名 令和7年度 第3回 重心・医ケア部会

開催日時 令和7年10月20日(月) 14:30~16:00

参加者所属機関名等

長野県医療的ケア児等支援センター、北信総合病院、訪問看護ステーションなかの、東長野病院、新生病院、飯山養護学校、ゆきんこ園、かすたねっと、よろこび、未来工房つむぎ、カラーS' 中野、みらいく、北信保健福祉事務所福祉課・健康づくり支援課、中野市、飯山市、北信圏域障害者総合相談支援センター

会議事項

(1) 他部会の活動状況の共有

事務局より、サービス向上部会における研修会の開催状況について共有した。

(2) 各機関の取組報告

① 新生病院

新生病院より、「生活支援入院が拓く新たな可能性」として、20歳女性の事例を通じた生活支援入院の取組について報告があった。

本人の意向を尊重しながら段階的に利用を進めたことで、本人の成長や家族の負担軽減につながったこと、あわせて平時からの利用や移行期支援、地域での受け皿づくりの重要性が共有された。

② ほくしん・といろの会

令和7年9月11日に親の会を開催し、災害時対応に関する学習会及び茶話会を実施した。

茶話会では、かすたねっとの事業終了に伴う不安や、地域資源の不足、学童や生活介護等の整備を求める意見が出された。

(3) かすたねっとの方針共有・課題

かすたねっとより、令和11年度末をもって医療的ケアの提供を終了する方針が示された。背景として、看護師及び支援員の確保が困難であることが説明された。

今後は、利用者ごとの移行支援を進めるとともに、部会として地域全体で支える体制について検討していくことを確認した。

(4) 各PJの課題検討

① 地域連携PJ

退院時ガイドブックの改定について、親の会で出された意見を踏まえ、制度情報等の追加を検討した。

また、県立こども病院との連携については、今年度は療育支援部職員を交えた意見交換の場を設ける方向で確認した。

② 地域課題PJ

各市町村の災害時個別避難計画の策定状況及び課題について共有した。

また、かすたねっとの事業終了を踏まえ、圏域内の受入先不足、人材不足、医療と福祉の連携体制等について課題を確認した。

③ 親の会PJ

「といろの会通信」の発行内容について検討し、講話、茶話会報告、ガイドブック、PJ報告を掲載することとした。

また、親の会の継続的な開催と、移行期の家庭への情報共有の場として活用していくことを確認した。

(5) その他